

ライゼツアー + αの旅

墾丁&高雄

台湾南部ひとり旅レポート



〈Reporter: 濱祐〉

ライゼツアー参加者のみなさんと台北でお別れした後、私・濱祐は再び台湾南部の高雄へ。今回はそこからひとりバスに乗って台湾最南端の墾丁(こんてい/ケンティン)へ出かけたり、渡し船に乗って旗津(きしん/チージン)半島を散策したりしてひとり高雄滞在を楽しみました。

2/14
Mon

「台湾最南端」という
文字に誘われて…

どうやら私も「最北端」とか「最高峰」など、「最」の付く極地的なものに、少なからずとも興味を示すみたいだなあ……。

言葉では表現しにくいけれど、そこには確固たるロマン(?)があるというか、「ここより〇〇な場所はもう存在しない」という地点にたどり着けるかと思うと、なぜか心がワクワクしてしまう私。

台湾最南端の墾丁は、全体が台湾の国家公園。美しいビーチあり、熱帯植物あり、ジャングルありと、南国ムード満点な観光地。距離は高雄からバスに揺られて2時間ちょっとで、往復ともバス多発。これなら帰りは安心♪と、思っていたより低いハードルに気を良くした私は、こんな理由で出かけることにしたのであります(笑)。

墾丁は青空で暑かった(笑)

高雄を出るときは天気が悪くて寒かったのに、墾丁に着いてからは初夏の陽気で、暑くて少々まいりました。ふと、ビーチに目をやると、数組のグループやカップルらが海水浴を楽しんでいる様子。触発されて私も少しだけ、足をちょっと海に浸してみることに。海の水は温かくて、おだやかな波の音とさわやかな風、それから、かすかな潮の香りに包まれる一瞬の感覚が、とても気持ち良かったなあ。。。



ダイビングポイントとしても有名な
墾丁・香蕉湾の奇岩「船帆石」

墾丁の空と海は青くて美しい。台湾最南端のポイントへと続く海岸沿いは、路線バスの停留所毎にビューポイントがあるので景色に飽きることはありませんでした。

最南端の灯台に登れず(悔)

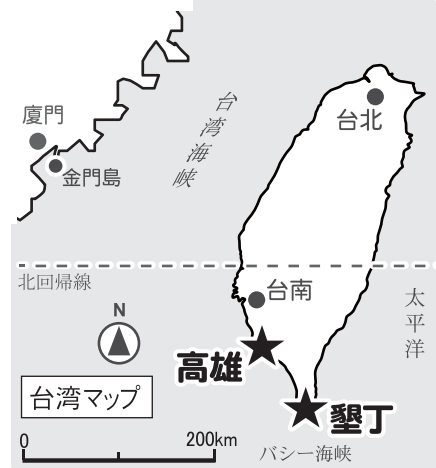
高雄から墾丁に到着して、よくわからないまま(?)に路線バスを乗り換えて鵝鑾鼻(がらんび/エルアンビ)公園へ。ここには台湾最南端の岬に立つ灯台があるのだけれど、訪れた月曜日は運悪く定休日で、灯台からの眺めが堪能できなくて残念でした~(涙)。(定休日があるのなら、その情報も載せてくれ~>ガイドブック)

ガイドブックには「好天時には灯台からフィリピンの島影を望むこともできる」と書いてあったので、いつの日かまた再チャレンジできるといいなあ。。。

灯台から5分ほど歩いた公園第二区の中にある台湾最南端の碑には、「経度120度50分0秒、北緯21度53分59秒」の文字が刻まれておりました。



公園の石碑。「台湾八景 鵝鑾鼻」と彫られている。



最南端をあとにして…

台湾最南端のポイントを訪れた後は、鵝鑾鼻公園から墾丁のバス停までの約6kmをのんびり歩いて戻ること。歩くことで気が付くことって、やっぱり多いなーとあらためて再認識。鵝鑾鼻公園の先には「満州」という地名があることや、道路に「陸蟹注意」の標識があること、海にぽっかり浮かぶ岩々を近くでよく見てみると、それは全部サンゴ礁で出来た岩だったなど、いろいろ発見が多くて楽しい帰り道となりました。

高雄へ戻るバスを待ちながら、少し赤みを帯びてきた陽の光にキラキラ輝く海を見て、「ここで夕陽を待つのもいいかもなあ…」と、ぼんやり思った私。ここも再び来る機会があったら、ぜひ泊まりで訪れようと、心に決めたのであります。(いつになるかわからんけど)



2/15
Tue

旗津をひとり歩き

午後1時。お昼ごはんを食べるために、高雄市側から渡し船に乗って旗津(きしん/チージン)半島へ。船を降りて、ビーチへと続く徒歩10分ほどの道には、新鮮な魚介類を店頭で並べたシーフードレストランがずらりと軒を連ね、好きな食材を選んで調理してもらおうお店がいっぱいありました。

海鮮街でお昼を済ませた後、すぐそばにあるビーチをしばらく散策。海水浴場なのに大型船が行き交う姿が見られるなんて、よく考えたら日本ではありえない景色かも？旗津の海は波が荒い上に、波打ち際が急に深くなっていたので、ちょっとビックリの私でした。

旗津には、高雄の“大きな港”とは違う“小さな港町”としての風情が残っている。路地に入ると時間の流れも穏やかになって、どことなく懐かしい気分になります。岸壁に建つ灯台と、砲台古跡(旗後砲台)から高雄湾と旗津半島をそれぞれ見てみると、景色がジオラマセットのように、はるか地平線まで見渡せて想像以上に美しかったことがとても印象に残っています。



旗津半島の海岸公園ビーチで輝く海をぼーっと眺める。

夕陽を眺めに西子湾へ

中山大学は台湾でトップクラスの有名国立大学で、観光スポットとして紹介されるほど風光明媚な大学。キャンパス内に西子湾の海水浴場があるなんて、一体どんな大学じゃっ！と興味津々で構内の一部を見学する。

いつしか、大学校舎の左側が赤く色づいていた。太陽がレンガ調の建物と、向こう側の小高い丘を赤く染める。夕陽が西子湾に沈む時間はもう少し先だったけれど、遠く台湾海峡に浮かぶ船々をシルエットに、たそがれ色になる景色は文句なしで絵になるなあ。。

水平線に近づくにつれ、夕陽は厚い雲に隠れたり、雲間から顔を出したりする。丘の上に建つ赤いレンガ造りの打狗(たかお)英国領事館官邸から、あらためて夕陽を觀賞。ひとり思いにふけていると、厚い雲と夕闇が西子湾の景色をたちまち隠してしまいました。

高雄は台湾第2の都市だけど、時間の濃度も人の密度も高くないから、他人と歩調を合わせなくていい。実はこれが、高雄最大の魅力なのかもなあ。。

2/14・15
Mon・Tue
Night

棚からぼたもち！ 高雄ランタンフェスティバル

旧正月15日の「元宵節」は中国人の伝統的なお正月行事。そんなことは全く頭になかった私は、高雄に着いて思わず小さくガッツポーズ(笑)。運よくランタンフェスティバルの開催期間に高雄滞在となりました。

高雄ランタンフェスティバルは、毎年台湾のどこかで催される「台湾ランタンフェスティバル」が、2001年に高雄で開催されたことを機に、以降毎年の元宵節前後の約2週間、「高雄燈会芸術祭」として行われている大イベント。その年の干支をモチーフにしたランタンや、ランタンアート作品(?)などが高雄市の中心を流れる愛河の両側にきれいに彩っておりました。

【左写真】高雄ランタンフェスティバルの花火。
花火会場には辿り着けず、愛河の真愛埠頭から眺める。

高雄ランタンフェスティバルは、会場規模がとても大きくてビックリでした。二晩だけでは全てを体験することができず、行くこと自体ができなかったエリアもいくつかありました。(つーか、人混みスゴくて自由に歩けなかったんだな)

事前にこのイベントを知っていたら、今回のライゼツアーで猛プッシュしたのになあ。お誘いできなかったことが悔やまれる私なのであります。

今回の高雄滞在では、愛河の西側のエリアを主に散策。前回(2007年)のライゼツアー+αの旅で訪れたときにはなかった新しいスポットがたくさん出来ていたり、あちこちきれいに再整備されたりして、街の発展に勢いを感じました。

また次回(いつ?)の訪問が楽しみです～>高雄(終)

